



## 研究部会報告

### ● 政治と社会と行政のOR ●

#### ・第18回

日 時：2012年12月17日(月) 15:00~18:15

場 所：政策研究大学院大学4階研究会室A

出席者：14名

#### テーマと講師、及び概要：

##### (1) 「医療サービスマネジメントでのORの利用」

鶴飼孝盛 (筑波大学)

病院内外の患者の動きに関する研究が紹介された。筑波大学病院における入院患者を決定していく現状について報告があり、患者および医療スタッフの満足度に着目した入院待ち患者に空き病床を割り当てるモデルが提案された。さらに、地域医療を取り巻く現状と、地域基幹病院を中心とする外来患者の受診行動の分析について議論された。

##### (2) 「スマートプラネットへの展望と大規模交通シミュレーション」

水田秀行 (日本IBM東京基礎研究所)

スマートプラネットというビジョンでは、大規模な数理解析技術を用いて、持続可能で安心安全な社会構築を支援している。不確実性の大きい人間社会において、さまざまな施策を検討するためのツールの一つであるエージェントシミュレーションが取り上げられ、大規模エージェントシミュレーション基盤とその上に構築された都市交通シミュレーションについての成果が紹介された。

### ● サービス産業における最適化と意思決定 ●

#### ・第11回

日 時：2013年2月22日(金) 14:00~16:00

場 所：金沢学院大学サテライト教室 (石川県金沢市南町3番1号 南町中央ビル6階)

出席者：9名

#### テーマと講師、及び概要：

##### (1) 「環境を配慮したサービス提供のための支援活動」

春名 亮 (金沢学院大学経営情報学部)

これまでの大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済社会から、持続的に発展可能な経済社会へと変遷している過程において、北陸におけるいくつかのサービス産業が循環型社会における法制度の下で環境を配慮したサービス提供活動に取り組んでいる事例を紹介し、さらに今後の展開可能性などについても議論した。

##### (2) 「行動科学とスポーツマネジメント」

山脇あゆみ (金沢学院大学スポーツ健康学部)

幼少期に発達すると言われる自己制御機能が、非日常的環境においてどのように変化するか、その可能性を探るとともに、スポーツ方面での自己主張、自己抑制の機能について報告した。自己制御機能が人間の行動にどのような影響を及ぼすのか、また、今後スポーツサービス産業の可能性についても議論した。